

生ごみ消えて笑顔ひろがる。
ゴミゼロ運動の大きな一歩。

ふじみ野市 PR 大使

「ふじみん」

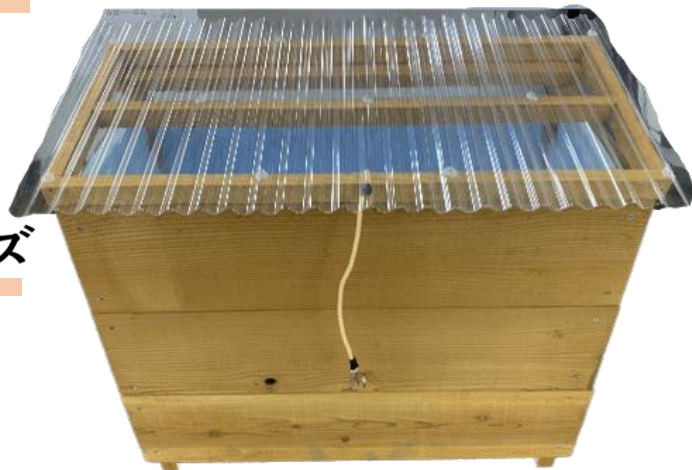


ベランダdeキエーロ

使い方マニュアル

小型サイズ

高さ 70cm
横幅 75cm
奥行 34cm
重量 17kg



ごみ減量推進！

匂わない！

虫が湧かない！

使い方簡単！

通常サイズ

高さ 80cm
横幅 95cm
奥行 50cm
重量 27kg

なぜ 生ごみを減らすのか？

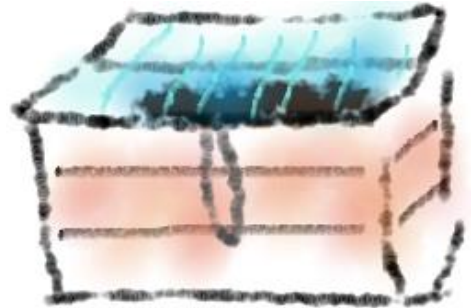
- 焼却時に発生する CO2 の排出を抑えて地球温暖化防止に貢献する。
- ごみの焼却費用を減らし、市の財政負担を軽減する。
- 「捨てればごみ、活かせば資源」
ごみを資源に活かしてみましよう！



ふじみ野市役所 環境課廃棄物対策係
ふじみ野市福岡1-1-1
TEL:049-262-9022
協力:ごみ減量をすすめる会

1 バランダ de キー口の特長

- 庭でも、バランダでも使える。
- 黒土の中のバクテリアが生ごみを分解するため、土が増えず、手入れ不要。
- 何度でも使え、維持費がかからない。
- 使い方が簡単。虫や匂いが気にならない。
- 食用の廃油、汁もの、腐ったもの、カビが生えたものでも投入が可能。
- 全ての食品の水切り不要。環境にやさしい。
- 生ごみを分解したあとの土は、堆肥にも使える。
(ただし、堆肥として使った分は土の補充が必要)



2 準備するもの

- (1)設置する場所 … なるべく陽があたり、風通しの良い場所。
- (2)用意するもの

黒土



通常サイズ:98ℓ
小型サイズ:70ℓ
特別な土ではありません。
お庭の土や、ホームセンターで購入した土でも同様に使用できます！

スコップ



剣先スコップ中型が便利
※園芸用小型スコップもあると便利

ジョウロまたはバケツ



キー口に水を補給するのに使用する。
※ペットボトルでも代用可能

蓋つきの容器



生ごみを入れ、ためるもの。
台所に置いて、容器に直接生ごみを入れると便利。

3 バランダ de キー口使用手順

① 生ごみを溜める

- ・溜める容器は何でも OK。(防臭のため、蓋つきのものがおすすめ)
- ・溜めたものを毎日埋めるもよし、数日(3~4日分)溜めておいてもよし。
※夏は腐りやすいので長い日数溜めないよう注意。

② バランダ de キー口の土に穴を掘る

- ・表面の乾いた土を横によけておき、土を掘る。(よけた土は⑤で使用する)
- ・深さは生ごみが頭を出さない程度掘る。(20~30センチ程度)
- ・剣先スコップ(中型)を使うと便利。

③ 生ごみを入れる

- ・1回に入れる生ごみの量は、**およそ 500g**が目安。

④ 「水」を入れ、「生ごみ」と「土」をよくかき混ぜる

- ・泥だんごを作れる程度の水を入れる。
- ・混ぜることで、土中のバクテリアが活性化し、虫の発生防止にもなる。
※**水はお米のとき汁やお湯がお薦め**。容器を洗った水も OK。
- ✖水が少なすぎる … 微生物が活動できない。
- ✖水が多すぎる … 生ごみが腐って匂う。虫が発生することもある。



穴を掘って生ごみ入れる



水を入れ生ごみと土を
よくかき混ぜる



乾いた土を被せる

⑤ 表面に乾いた土をかぶせて(ふたをして)終了

- ・②でよけておいた乾いた土をかける。
- ・生ごみが見えないように、土をしっかりかぶせると、匂わず、虫も発生しない。
- ・生ごみを埋めた場所に目印をつけておくと良い。

⑥ 繰り返して実行

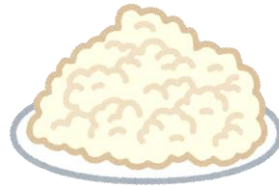
- ・次に埋める場所は前に埋めたところの隣か上下。**穴は3~4ヶ所**が目安。
(生ごみの量で加減する。)
- ・**夏場は 3~4 日、冬場は 10 日前後**で生ごみがなくなる。

4 キーコに入れていいもののダメなもの

いれていいもの

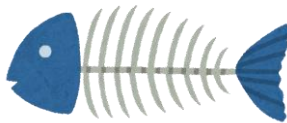
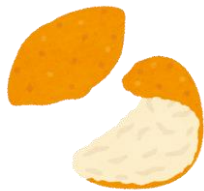
殆どの食材はOK。

野菜や果物、魚・肉類、カレー・シチュー・ラーメンなどの残り汁、
天ぷら油の廃油、ヨーグルト、マヨネーズなど。



時間がかかるもの

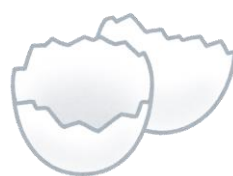
生野菜(葉や芯)、グレープフルーツやみかんの皮、魚介の骨類など。



いれてはいけないもの

卵の殻、貝殻、たけのこの皮、豆類のさやの筋、たまねぎの外側の皮、
とうもろこしの芯や毛、動物の骨など。

※繊維質の強いものは分解されずに残る。



人間が食べられるもの、カロリーが高いものや加熱したもの、細かくしたものなど、人間が食べやすいものが分解しやすいです。

時間がかかるものはできるだけ細かく刻み、しっかり穴を掘り、生ごみを土とよく混ぜ、土をかぶせてフタをするのが分解のコツです。家庭から出るごみの一部を処理するものとしてご活用ください。

5 疑問解決！ Q&A

Q 生ごみが消えない。

A: 生ごみの量が多いかも。

⇒量は1回に 500g ぐらいが適量です。

使い方は正しいですか。

⇒繊維質の生ごみや、水分が足りていないと分解が進みづらいです。

生ごみを細かく刻んで、土とよくかき混ぜると分解されやすくなります。

埋めた後、スコップを土にザクザクと突き刺して、空気を入れるとバクテリアの働きが活性化し、消えやすくなります。また、投入を休むと分解促進に効果的です。



Q:特に野菜の生ごみが消えない。

A:できるだけ細かく刻んだり、1日おいて、鮮度が落ちてから入れたり、

ゆで汁などの残り湯をかけると早く分解されます。ミキサー等でドロドロにすると非常に早く分解されます。

Q:匂いがする。虫が湧く。

A:生ごみが、表面から出ていたり、塊のままになっていませんか。

⇒土とよくかき混ぜ、土で生ごみに蓋をしてください。

水が多すぎたりしていませんか。

⇒水の量の目安は団子が作れる程度で大丈夫です。



Q:冬はどうしたらいいのか？

A:冬は温度が下がり、バクテリアの活動が悪くなるため、比較的分解に時間がかかります。水をお湯に変えたり、食用の廃油を入れると、土の温度を上がり、分解を促進されます。また、生ごみの投入量を減らしたり、入れる日の間隔をあけるのも分解の促進に効果的です。

Q:土は増減しないのですか？

A:土の中のバクテリアが生ごみを分解し、生ごみを水と二酸化炭素に分解するため、分解された生ごみは空気に放出され、土は増加しません。

分解が終わると、土の中に灰色や白いカビのようなものがついた土の塊が残ることがあります。細かく砕いて土に混ぜてください。

Q:どのくらいの時間で分解されますか？

A:夏は3、4日、冬は10日程度が目安です。

分解される前に埋めた場所を掘り返すと分解が遅くなる場合がありますので、ご注意ください。

分解がされる前に、ご使用される場合は埋めた場所以外のところに穴を掘り埋めてください。

● 番外編

6 生ごみ堆肥で美味しい野菜を育てよう

キエー口で使った後の黒土は生ごみの栄養を吸い込み、栄養たっぷりの生ごみ堆肥となります。生ごみ堆肥でおいしい野菜を育ててみませんか。

1 生ごみ堆肥の性質

- 土壌を柔らかくする。水持ちが良く、水はけが良い。
- 土壌の酸性化を防ぐ。
- 効き目が穏やかで長持ちする。

2 生ごみ堆肥の作り方

- ① 生ごみを入れたキエー口の土を、肥料にする分だけ他の容器に移します。
(容器はポリバケツ、発泡スチロールの箱、ダンボール箱、布袋 など何でもOK。)
- ② 容器の底にレンガなどをおいてすき間を作り、風通しをよくします。
- ③ 1週間ごとに土をよくかき混ぜます。乾燥しない程度に水分補給します。
(布袋ならば、上下をひっくり返して揺すればOK。)
- ④ ③を繰り返し、1ヶ月以上経てば生ごみ堆肥の完成。

注意すること

- キエー口の土を生ごみ堆肥として使う方は、塩分の多い生ごみを投入するのはなるべく避ける。
- 生ごみは十分に熟成させたもの投入すること。
- 未醗酵の生ごみは投入しないこと。
生の成分が多い肥料を施すと、地中のピシューム菌が増殖しやすく、根腐病などの原因となる。

